

第2章 接続と使用について

2.1 SCSIリピータ機能、SCSIハブ機能を使用する場合

2

本製品の接続は以下の手順で行います。

本製品と接続する機器（パソコン本体 / SCSI機器）すべての電源をOFFにします。

本製品に別売のサブボードを接続します。手順については「1.3 オプション品について」をご参照ください。

別売のSCSIケーブルでパソコン本体のSCSIインターフェースボードと本製品のメインバスコネクタを接続します。（必要に応じて、この間にSCSI機器が接続されていてもかまいません。）

Point

ポイント

50ピンのSCSIコネクタを持つSCSIインターフェースボードを接続する場合は、付属の変換アダプタをご使用ください。

本製品のメインバス拡張コネクタに付属のターミネータを接続します。このターミネータはメインバスのターミネータとなります。

サブバス（サブボードのSCSIコネクタ）にSCSI機器を接続してください。

Point

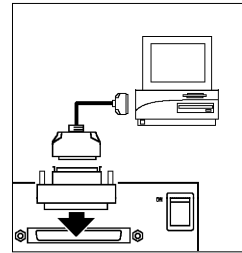
ポイント

- ・SCSI機器のIDナンバーはメインバス、およびすべてのサブバス間で重複してはいけません。
- ・各サブバスの終端にはターミネータを接続してください。

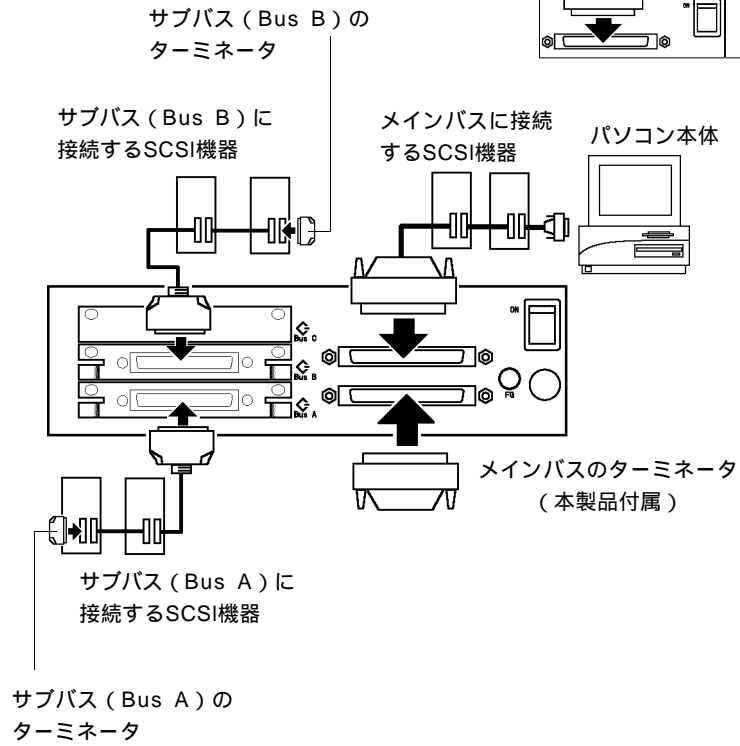
接続図

SCSIリピータ機能、SCSIハブ機能を使用する場合

50ピンSCSIインターフェイスボードの場合



2

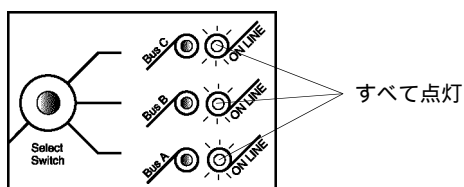


2.1 SCSIリピータ機能、SCSIハブ機能を使用する場合

システム起動までの手順

本製品の電源をONにします。

セレクトスイッチを回転して、必要なサブバスをオンライン状態（オンライン表示ランプが点灯した状態）にします。通常の場合、すべてのオンライン表示ランプが点灯している状態にしてください。



Point

ポイント

- ・サブボードが接続されていないバスをオンライン状態にしても特に支障はありません。
- ・セレクトスイッチで一部のサブバスをオフライン状態（オンライン表示ランプが消灯）にした場合、そのサブバスに接続されたSCSI機器はパソコン本体から認識されません。

SCSI機器の電源をONにします。

パソコン本体の電源をONにして、システムを起動し、接続されたSCSI機器がすべて認識されていることを確認してください。

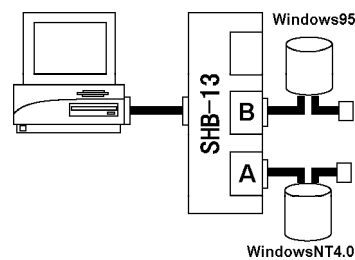
ご注意

- ・電源ONは必ず上記の手順のように、本製品 SCSI機器 パソコン本体の順番で行ってください。電源OFFはパソコン本体のOSが終了していれば、特に順番は問いません。
- ・システム起動後はセレクトスイッチを変更しないでください。セレクトスイッチを変更したい場合は、OSを終了した上で変更し、再起動を行ってください。

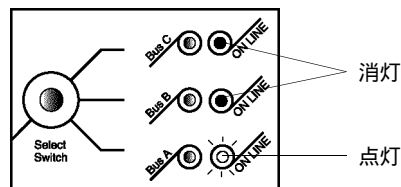
一部のSCSI機器を認識されないようにすると・・・

本製品のサブバスをオフラインにすると、そこに接続されたSCSI機器はパソコン本体から認識されなくなります。これを利用すると、2台のハードディスクにそれぞれ異なるOSをインストールして、セレクトスイッチの切替で起動するOSを選択することが可能になります。

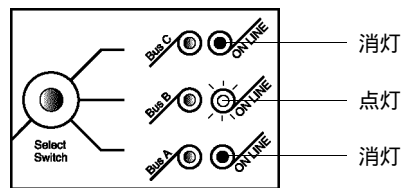
2



例えばこのようにハードディスクが接続され、それぞれのOSがインストールされていた場合・・・



Bus Aのみをオンラインにした状態では、WindowsNT4.0が起動します。この場合、Bus BのWindows95は認識されません。



Bus Bのみをオンラインにした状態では、Windows95が起動します。この場合、Bus AのWindowsNT4.0は認識されません。

2.2 PCスイッチ機能を使用する場合

本製品の接続は以下の手順で行います。

本製品と接続する機器（パソコン本体 / SCSI機器）すべての電源をOFFにします。

本製品に別売のサブボードを接続します。手順については「1.3 オプション品について」をご参照ください。

本製品のメインバスコネクタにSCSI機器を接続します。

Point

ご注意

- ・ここでメインバスに接続できるのは、イメージスキャナなどの入出力機器だけです。ハードディスク、光磁気ディスクなどの補助記憶装置を接続して切り替えを行うと、保存したデータが失われる危険性があります。
 - ・50ピンのSCSIコネクタを持つSCSI機器を接続する場合は、付属の変換アダプタをご使用ください。
-

本製品のメインバス拡張コネクタに付属のターミネータを接続します。このターミネータはメインバスのターミネータとなります。

サブバス（サブボードのSCSIコネクタ）にパソコン本体を接続してください。（必要に応じて、本製品とパソコン本体の間にSCSI機器を接続してもかまいません。ここに接続したSCSI機器は本製品のセレクトスイッチの状態に関わらずそれぞれのパソコン本体で認識されます。）

Point

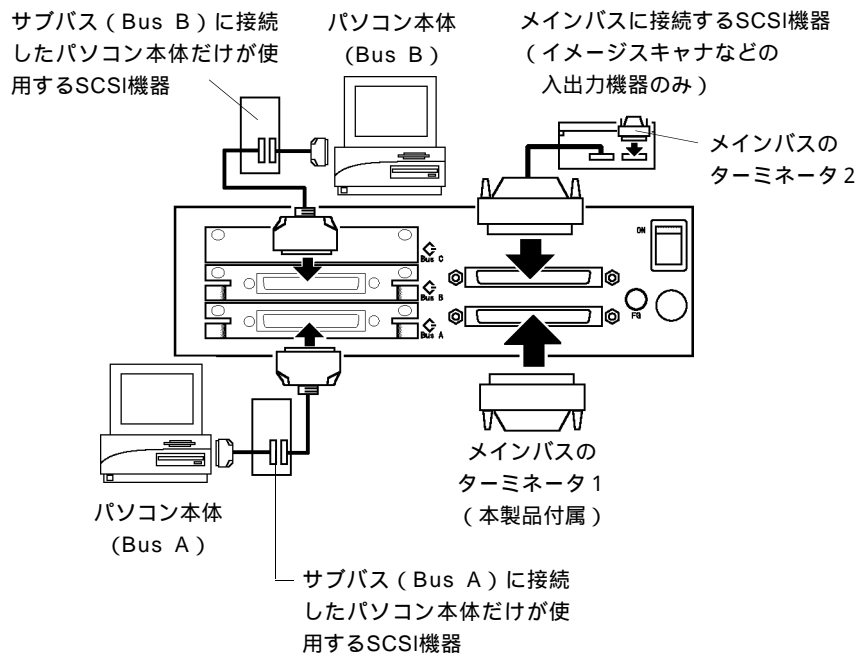
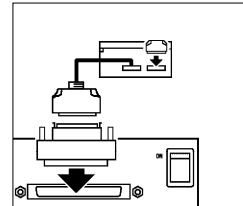
ポイント

- ・SCSI機器のIDナンバーはメインバスとサブバス間で重複してはいけません。（PCスイッチ機能を使用する場合、各サブバスは必ず排他的に使用しなければなりません。そのため、サブバス同士ではIDナンバーの重複は発生しません。）
 - ・メインバスの終端にはターミネータを接続してください。（本製品のメインバス拡張コネクタに接続するターミネータとは別に必要です。）
-

接続図

PCスイッチ機能を使用する場合

50ピンSCSI機器の場合



Point ポイント

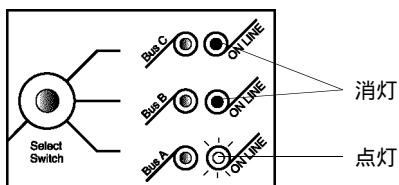
上図のように接続を行った場合、本製品のセレクトスイッチによってBus Aに接続されたパソコン本体と、Bus Bに接続されたパソコン本体を切り替えて、メインバスに接続されたイメージスキャナなどを使用することができます。(2台のパソコンを同時にオンライン状態にはできません。)

2.2 P C スイッチ機能を使用する場合

システム起動までの手順

本製品の電源をONにします。

セレクトスイッチを回転して、必要なサブバスを1つだけオンライン状態（オンライン表示ランプが点灯した状態）にします。



ご注意

ここで2つ以上のサブバスを同時にオンライン状態にしてはいけません。

SCSI機器の電源をONにします。

オンライン状態にしたサブバスに接続されているパソコン本体の電源をONにして、システムを起動し、メインバスに接続されたSCSI機器が認識されていることを確認してください。



ご注意

- ・電源ONは必ず上記の手順のように、本製品 SCSI機器 パソコン本体の順番で行ってください。電源OFFはパソコン本体のOSが終了していれば、特に順番は問いません。
- ・パソコンを切り替えたい場合は、システムを再起動する必要があります。必ず次ページの手順で切り替えを行ってください。

パソコンを切り替える手順

以下の手順では、現在、パソコン本体Aがオンライン状態にあり、これをパソコン本体Bに切り替えます。

現在オンライン状態になっているパソコン本体AのOSを終了（シャットダウン）します。もし、パソコン本体Aをこれ以上使用しない場合は、電源をOFFにしてもかまいません。

セレクトスイッチを回転して、パソコン本体Bが接続されているサブバスをオンライン状態（オンライン表示ランプが点灯した状態）にします。

パソコン本体Bの電源をONにして、システムを起動します。（ここで、もしパソコン本体Aも使用したい場合は、パソコン本体Aを再起動してください。ただし、これを行ってもパソコン本体Aからメインバスに接続されたSCSI機器を認識することはできません。）

2

ご注意

パソコン本体の切り替えは、必ず上記のようにパソコンのOSが起動していない状態、またはパソコン本体の電源がOFFの状態で行ってください。パソコンのOSが起動している間に切り替えを行うと、SCSI機器に保存されたデータが失われる可能性があります。